

公正証書遺言の記載例

令和〇〇年第〇号

遺言公正証書

本公証人は、遺言者〇〇〇〇の嘱託により、後記証人の立会いの下に、次のとおり遺言者の口述を筆記し、この証書を作成する。

本旨

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第一条 遺言者は、その有する下記の財産につき、遺言執行者において全てを換価し、換価金の中から諸経費、相続債務を支払い、遺言執行の費用及び報酬を控除した残金の中から下記受遺者**国立大学法人東北大学**に遺贈する。

記

○○○○○○○○○○○○○○○○(遺贈する財産の表示)

○○○○○○○○○○○○○○○○(同上)

〔受遺者〕

所在地 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号

名 称 国立大学法人東北大学

学 長 富永 悌二

※学長名は 2024 年時点での情報です。

(遺言執行者)

第二条 遺言者は、この遺言の執行者として、次の者を指定する。

〇〇〇〇〇(弁護士)

昭和〇年〇月〇日生

(住所) 宮城県仙台市〇〇区〇〇△丁目△番△号

(事務所) 宮城県仙台市〇〇区〇〇△丁目△番△号

遺言執行者をご指定ください。

本旨外要件

住所 宮城県仙台市〇〇区〇〇△丁目△番△号

職業 無職

遺言者 ○○○○

昭和〇年〇月〇日生

上記は印鑑登録証明書の提出により人違いでないことを証明させた。

住所 宮城県仙台市〇〇区〇〇△丁目△番△号

職業 弁護士

証人 ○○○○

昭和〇年〇月〇日生

住所 宮城県仙台市〇〇区〇〇△丁目△番△号

職業 事務員

証人 ○○○○

昭和〇年〇月〇日生

遺言者、証人が
それぞれ署名捺印します。

上記遺言者及び証人に読み聞かせたところ、各自その筆記の正確なことを承認し、次に署名捺印する。

遺言者 ○○○○ 印

証 人 ○○○○ 印

証 人 ○○○○ 印

この証書は民法第969条第1号ないし第4号の方式にしたがい作成し、同条第5号に基づき下記に署名押印するものである。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

宮城県仙台市〇〇区〇〇△丁目△番△号において

○○法務局所属

公証人が署名捺印します。

公証人 ○○○○ 印

※上記は公正証書遺言のイメージをもっといただくための作成例です。実際の公正証書遺言の作成に当たっては、公証役場でご相談ください。